

## 平成28年第1回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

## I 被災者の生活の回復に関する実感

生活の回復度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防災集団移転の住宅建築が始まったこと、災害公営住宅の造成工事が始まった。
回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	生活には不自由な所はもちろんあると思いますが、見たり聞いたりする場面は少なくなった様に感じます。
回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	災害公営住宅は既に完成し、自宅の再建も8~9割完了した。
回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	女	(1) 綾里地域の住民の皆さん全員公営住宅、又住宅高台移転に住宅新築しました。 (2) 目的を持って頑張っております。
回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	被災前の生活とほとんど変わらないと感じられるまでになったと思う。後は、前の町内に家を建て戻って生活をするだけ。
回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	私の事業所のリハビリテーションに通われている利用者の方々も、仮設住宅から高台移転先の新居に転居し、新たな生活が始まりました。新居で迎えた今年の穏やかな年明けと、生活空間の変化による高揚感の高まりから新年を迎えて最初に通われた時の笑顔がとても印象的でした。震災から間もなく5年目を迎えますが、私の住んでいる村や隣町の様にほぼ移転した市町村以外の高台移転が道半ばな地域に早く穏やかな生活環境が整う事を願います。
回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	あまり情報交換をする機会はないが、以前と変わらぬ日常生活をすることができていると感じています。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	私の住んでいる仮設住宅でも、自宅を再建したり、復興住宅へ移ったりし、ピーク時の1/3以下となっている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	公営住宅は進んでいるが、一般の住宅の整地は遅く感じられる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	(1) 好きな物、必要な物等購入しやすくなってきた。 (2) 復興住宅に住居が決定している方々はもう少しで仮設住宅から退去できる喜びで気持ちも明るくなってきている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	自宅新築や中古住宅購入移転、昨年は柳沢地区町民住宅の復旧などで自立復興なり、平成27年12月で計30世帯が転出されたこと、慶賀の次第である（当初80世帯で発足、補充入居世帯もあり、現在60世帯である）。28年度は、自宅再建もかなり進む見込みであり、当該仮設団地隣接の北浜口県営災害復興住宅の竣工が近いことであり、転居世帯が増加しそうである。高台移転などの土地造成が各地で進んでいるが、移転地の取得交渉が、遅れている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	自己努力により、住宅環境はやや回復しています。仮設住宅で生活している皆さんが、安心出来る様、高台の土地区画整理事業、集合住宅の早期完成を希望しています。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	箆笠地区仮設住宅入居者の県営・町営災害公営住宅の入居者は昨年から続いています。災害公営住宅入居者はどこの住宅に入居するかほぼ決定したと思います。高台造成工事も、今年中に箆笠地区はすべて完成すると思います。新築ラッシュと入居が始まっています。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	市内各地域の防災集団移転先の造成も全区域が整備され、今後各世帯なり住宅再建が進む状況になっている。又、災害公営住宅の整備も進んで完成棟には、随時入居が始まっている。しかし陸前高田市街地の被害した世帯（高田町・今泉地区）の公営住宅の整備が遅れており、この地区の方々には公営住宅整備を待ち切れない状況の人も多く、不安を感じている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	県・町営の災害公営住宅への入居や、JA花巻産直道の駅開業等により、点→線→面→一体への復興の足跡がみえてきましたが、それはまだ一部分であり、未完の土地区画整理、防災集団移転、津波復興拠点などこれからも一山二山と難儀な峠があると思います。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	①集団移転地へ家を建てた人、建築中の人、又自立再建した人が増えた。 ②災害公営住宅への入居も進んでいる。 ③日常の生活にゆとりと落ち着きを感じる。 ④①～②の人が増えている中で、家の建築に目処がついていない人も見受けられる。 ⑤災害公営住宅に入居したが、収入が年金だけという人も多くいる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	月一回の元の町内会に参加しています。行くと目新しい家が軒、又一軒と建ててきてます。少しずつではありますが回復していると思います。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	私共の仮設区内で1/3が、津波が恐ろしく安全な山手に再建し引っ越して行きました。仮設にいる方々も復興住宅に入る方、元の宅地の嵩上げを待つて再建すると、先の見通しが出来た事で日常の生活も落ち着いてきたと感じました。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	①県営、町営災害公営住宅や防集団地への移転も町内全体では進んできた。現在当仮設住宅に住んでいる12世帯はまだ土地の造成中の段階で、早い人で1年半、長い人で3年位はまだ仮設暮らしが続くのではないかと。 ②除雪作業が大変。日中在宅は68歳以上女子（2～3人）のみとなるので重労働。1/19の大雪除雪は近所の農家の方をお願いし、トラクターで除雪をして頂いた。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	スーパーマーケットの売上増や災害公営住宅の入居などにより、順調に進んでいる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	道路が新しくできるなど、買い物等へのアクセスが以前より良くなり、またスーパーなども軒数が増え、日常生活が難しくなくなってきた。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	私の仮設では8割の方々が自己再建や公営住宅の完成により引越しされました。住居は確実に確保されていますが、先の生活に不安を感じている方々も沢山います。見た目は回復していますが、内情はと問われれば何とも言えないのが現状です。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	住宅に関しては、仮設住宅に空きが目立ち、また県営住宅や自宅再建により、移り住む人も増えてはきている。雇用に関しては、私自身に関して言えば、非正規雇用であり、正社員を目指すもなかなか厳しいのが現実であり、将来の不安が大きい。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	災害復興住宅への転居、自主再建された方が多いです。これから高台移転へ着実に進んでいますが、仮設での生活の人がまだ多いのが現実です。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	仮設住宅の空きがだいぶ多くなってきた事と、高台に新しい住宅や集合住宅も建てられ引越しも進んでいる様子がみられるが、まだ完全ではなく、進行途中である様に感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	各地に建設されていた復興公営住宅が完成して入居が始まった。「仮設と比べものにならないくらい住み心地が良い」という声をよく耳にする。しかし、プライバシーが保たれる反面、隣に暮らす人がどんな人なのか分からないとか、公営住宅が建設された地域の方は「どう接していいのかわからない」という声も聞かれる。今は公営住宅の集会所が気軽に使えず、住民交流の場も無いのが現状。せめて集会所だけでも気軽に使えるようにしてほしいと思う。これからコミュニティ形成が大きな課題と感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	自力再建、公営住宅共に入居された方々がかなり増えた。しかし、仮設住宅にもまだたくさん住んでおり、一人残らず再建できるまでには、もう少し時間がかかりそうだ。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸北部	男	仮設住宅から自宅を再建され移った方々が増えました。喜ばしい反面、新たに住宅ローンの支払いがあり、不安を感じている方もいます。今後、心のケアが必要と思います。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	漁師をしているが、港や市場の整備が終わっていない。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	気になるのは、公園などの仮設である。移転等を進め、子供達に開放し、健全育成を進めてほしい。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	・被災者に明るさが出てきた。 ・復興住宅等の引越しが進んできた。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	今年度は特に集中復興期間最終年度ということもあり、土木工事を中心に高台移転の住宅再建なども、目に見えて進んでいる状況が確認できるため。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	・公営住宅が完成し入居が始まり、高台にも家が建ち始めてきた。 ・公営住宅への入居者に笑顔が見える様になったが、コミュニケーションがとれない老人がいる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	女	町で一番多くの世帯が入れる災害公営住宅が建ち、仮設からの移転がここ一年で多く、住宅再建も盛土が終わった所には次々と家が建ち、建築業の仕事が忙しく間に合わず、人手不足の話をよく耳にしますが、それだけ復興が進んでいるかと思われます。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	高台の土地造成が進み、本年度中に保育所の仮設からの引越しが始まる予定である。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	公営住宅での生活感が見られるようになってきた。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸北部	男	野田村海岸堤防復旧工事が進んでいる。宇部川地区はほ場整備事業も27年には作付がなされ、今は補完工事である暗渠排水工事が行われている。面整備は27年度で終了予定。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	従前地・区画整理事業地での住宅再建は進んでおり、住環境という点では整いつつあるが、以前より当地区はアパート等の絶対数が少なく、他市町村での雇用・居住が多いことから個々の生活の回復は見られるものの、地域全体でみるとまだまだという感がある。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	住宅の再建が進んでいる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	自宅再建が進み、入居する人たちが増えている。しかし高台地内のコミュニティとしての機能はまだまだと感ぜられる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	女	住宅新築がちらほら見える様になったため。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	・嵩上げ工事の進捗状況 ・取引先事業所の売上状況
やや回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸北部	男	住宅以外にも学校等の公共施設が建設され、「この地で暮らしていく」という生活の見通しがより現実感を増した感じがする。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	仮設住宅から、復興住宅等への転居が少しずつ進んでいます。その反面、再建の目処がなかなか進んでいない方々も多数いらっしゃる気がします。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	・津軽石・八木沢等のアパートの建設が進んだ（津軽石は入居済） ・金沢・赤前等の住宅建設が進んでいる ・嵩上げはしたが、そのままの場所が見られる（法の脇etc）
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	仮設住宅から公営住宅へ移る人が増えたことと、新築住宅があちらこちらに建ち、引っ越し人が増えているという状況から。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	災害復興住宅へ仮設住宅から移った人が増えてきているのではないだろうか。高台造成工事が進み、宅地や新築住宅が増えています。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	高台等の整備も進み、住環境については以前より出来てきているので「やや進んでいる」と感じるが、まだまだのところもある。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	災害復興住宅の建設も進み、仮設住宅からの入居も始まってきたため。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	災害復興住宅や盛土が進み、仮設住宅から引越する人が増えているから。
やや回復した	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸北部	女	住宅が建ち並び、別の街がつけられてきている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	住宅建築が進み、仮設住宅から出てそちらの方に住まわれる方が多くなっている。求人も多い状況が続いているが、復興事業が終了した後も安定した生活ができるのか心配です。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	住宅の再建が進み、仮設住宅から出る人が増えている。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	自宅を再建した方々がほとんどで、ようやく皆さん安心して暮らせるようになってきたと思います。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	私の住んでいる地域は、震災の影響は水産業への影響はあるものの比較的軽微であり、最近の水産業等も震災以前に回復してきている感じがしている。先を見据えた生活が描けるようになってきたと思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	高台の住宅地には、自力再建や災害公営住宅の建設がどんどん進んでいる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	新築の住宅が増えた様に感じるが、未だ仮設暮らしの方々の生活は変わらず。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	海産物も以前と同じくらいとれ始め、漁業関係の仕事も安定してきたようです。生活することに必死だったので、楽しみをみつけて、みんなが前を向いて生きていけるようになればと思います。※実際に津波を目の前で見えていない人達にとって、震災は過去のもので、忘れ去られているように感じる事が多くなってきました。（特に内陸の方とか…）
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸南部	男	仮設住宅に住む方々が少なくなり、恒久住宅や新築する人達が多くなってきたようだ。しかし、様々な理由により仮設住宅を出ない人達は問題を抱えている。解決は難しい。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	確かに再建されたり、公営住宅に入居し、落ち着いているように感じる場合もありますが、中には、先延ばしの方々もいたりで、この先の不安を思うと気の毒に思ったりします。公営住宅に移ったが、何もかもお金がかかり大変との声もあります。生活苦、独居不安、開けばきりがなくらいです。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	自宅を再建した方もいれば、高齢独居で仮設で生活している方もおり、一概になんとも言えない。市内の復興住宅の完成が待たれる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	学校の校庭に仮設住宅が依然としてある。私の周りの人も再建できないでいる。一方、災害住宅が完成する地域が増えている。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	道路等の整備は進んでいるように感じますが、計画と行われている事業が住民中心にそったものなのかはわからない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	6ヶ月間被災者の方と生活についての話をすることがあまり無かったので。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	地元の防災集団移転地の工事が、この6ヶ月間でかなり進んだ。集団移転地に新築・移転する時期の目途が見えてきた点では、被災者にとって励みになっていると思われる。その一方で、当初防集に移転計画をしていた被災者のなかには、住居の新築を断念して、災害公営住宅に移り住んだ方もいる。この人たちのなかには、今後家賃という支出が伴うことへの不安を募らせている方たちがいる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	回復した方とそうでない方に二分されているように感じる。多くの方から話を聞く機会があるが、回復したと答える方は必ずしも多くはない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	復興工事は、目に見えて進んでいるようだが、住宅再建などが進んでいない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	復興住宅も建ち、新しい家も建ち、商店街も少しずつ変わってきているようだ。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	長い仮設生活の中で災害公営住宅（団地）や防集などの宅地などだいぶ整備され、自宅再建など新しい生活をはじめようという人がいる中で負担（保険、税など）があるので、今後の生活に不安がある事。今年で5年になって災害復旧、復興に対する予算がなくなると、まだ生活道路や河川（用水路など）そのままになっていて、以前の行動のようにはいかないので、今後どうなるのか心配しているため。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	今、沿岸で景気が良いのは、土建業の元請けと一部の施工業者とそれを相手にしている飲食店くらいだと思います。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	住宅の再建はまだ先だが、復興の工事が進んでいるような気がする。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	個人差がかなり大きい。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	個人個人の状況としては、まだまだ生活が安定していない人も多い。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	田老地区においては、災害公営住宅が27年10月に完成し始め、最終的には28年3月に111世帯分が完成する予定である。27年11月から入居が始まり、災害公営住宅の完成に合わせて、順次仮設住宅からの移転が行われており、3月末までには移転が終了するものと思われる。全体的に見れば、住宅の確保の割合が増えてきたが未だ43%の世帯がその途上にあり、「やや回復した」とは言い切れない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	仮設の生活を離れて災害公営住宅、防災集団移転等に移る事になるのですが、個人的にはまだまだ質素な生活をしている。災害公営住宅等に入居しても共益費等個人以外の出費も大きい様で。国民年金等の生活費で生活が可能なのか。入ってみなければわからない。防集に入る人も同じ。地元の企業で働いていた人の年金は多く無いのが現状です。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	その人の状況により、回復した方とそうでない方がいるので、全体として一概に答えられないです。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	まだまだ仮設住宅で生活している方が多い。昨年春から一部の高台造成地で、宅地の引渡しが始まったが、町全体の中では一部にすぎない。造成の戸数さえ確定していない地区もある。家賃の無い仮設住宅の生活に慣れて来たので、計画の遅れに対しての不満は開かなくなったのだが、仮設住宅に住む方がいなくなって、生活の回復といえると思うので。早くてもあと5年はおかかると思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	前回と同様、高齢者だけの世帯では何かと不便も多く、買い物に出かけるのにも毎回タクシーで往復するとたちまちお金が無くなるといった声も聞いたりします。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	この半年で、私の目に新たな事が目につかないので。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	女	高台の造成が完成し、そこへ新築の家を建て始めている。仮設住宅に住んでいる人が少なくなっているようだ。ただ、仮設住まいの人たちに経済格差があり出られない人もいる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	復興住宅、アパート、一戸建てと再建はしてきているとは感じるが、地元以外への再建（一戸建て）も目立つ。復興工事完成が完了した時にどれだけの人が戻っているのか疑問が残る。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	・仮設住宅に住む方は、未だ不便な生活を続けている。・経済はもともと活発ではないため、震災前の生活水準に至っていると感じている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	高台団地の造成工事も完了し公営住宅、自立再建等住宅が多く完成し、復興が目に見えてきた。今回の調査では仮設住宅からの移転も終わっているだろう。これからは自立しなければいけないが、色々とお金がかさみ不安を感じている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	生活環境について大きな変化はないと感じる。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	この仮設では自力で家を再建する人は完成して移っているが、残っている人は宅地の完成及び災害住宅の完成を待っている人がほとんどで、大槌町の復興が進んでいないので停滞している感じ。私も区画整理の完了を待っている。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	復興住宅も出来て、仮設から出ている方が多くなった。復興住宅に入りたいと思われている方はやや目的を達することが出来たかと思われるが、やはり地元の仕事がないかなと思うので、経済的にはあまり進んでとは思えない。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	被災者の生活は未だに仮設がほとんどで、復興住宅に住めてる方々は生まれ育った地を離れているわけで、回復とはいっになっても不可能かもしれない。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	（前回よりあまり変化無し）高台の造成が一段階進んだようであるが、住宅を建てるにはまだまだ先の事の様である。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	仮設住宅住民の様子は、住宅建設が始まっているが、まだ仮設住宅での生活を続けているから。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	復興住宅へ入居できた家庭がある。しかし未だ雇用促進住宅から出られない家庭もある。また、被災していない家庭で「もう震災関係の支援はいらない」などと、被災した方々への配慮の無い発言をする人間もいる。被災地でもこのような状況であるから、もっと被災者の生活の現状を何らかの形で伝え続ける方法が必要と考える。

## II 地域経済の回復に関する実感

地域経済の回復度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	水産業は活気が有り、良い方向に進んでいる様です。
回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	仮設での経営ではあるが、震災前に近い状態と思います。
回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	職業柄、企業を回る機会が多いが、震災前の業績を超えた所もでている。
回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	水産業は回復して、実感出来るまでになっていると思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	大震災後、山田町の浅海養殖業は、壊滅的な大被害を被ったが、徐々に復旧復興なり、安定的な浅海養殖となった。磯漁業やウニ・鮑等採捕等口開け物の漁業が好調で、特に鮑採捕漁業は漁民のボーナスとなったようである。定置網や鮭延縄漁業は、3.11巨大震災被災の影響が甚大で、鮭の回帰率が激減し、低迷の鮭漁となった。商工業にあっては、罹災者人口激減の中で、町外からの転入の工事関係者に支えられて、一応の好景気を保っているようである。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	実感として地域経済の状態はやや回復していると思われます。特に商業地帯が一部ですが、仮設の事業所から本設の事業所に移行されてきました。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	農業のほ場整備はすべて完成したと思います。震災前より働きやすく整備されました。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	①各商店は仮設店舗からグループ補助金の活用で本設で再建し、営業して活気を感じる。 ②漁協、農協も震災前と同程度の業績で営業している。 ③建設及び建築業は震災前以上の仕事をしている。 ④浸水地域の土地の利用方針は決まっているが、農地の整備等含め具体的整備に着手していない。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	一ヶ所に集団仮設店舗として営業を始めて9ヶ月になりますが、工事現場の前なのでダンプが忙しく動き、その都度、道路が何回も変わり、面倒がって客足が遠のいております。お客様の送り迎え、又は出張販売と店舗毎に工夫をしております。スーパーも競争店が2ヶ所に出来、消費者には良いですが、経営者は大変かと思ひます。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	水産関係に関してみれば、活気があるように見受けられます。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	農林水産業も外見적으로는回復している様に感じられるようになった。離職して新しい職業についている方、新転地にて新たな生活をし、落ち着いている方など一見生活は落ち着き、日々の生活は被災前となっているように感じる。農地については未だ感じられないが耕作方法が一見改善されたように感じるが、耕作地がなくなり、日々の農作業もできず、ポーッと過ごしている高齢の方を見かけることがある。メンタル面への働きかけが今後より強く必要と考える。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	・震災前の生活水準に至ってきている。 ・仮設商店街には、お客様がそれほど来ず、大変な思いをしている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	港の整備が終わっていない。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	三陸沿岸道路、吉浜道路が開通。大船渡町の嵩上げた土地に、ホテルをはじめとした大型の建物が建設中であることや、道路が変わることなどで著しく街の様子が変わっている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	女	(1) 浜の仕事は助成していただいて生産体制の整備はできましたが、鮭・イカ等、あわび不漁なため、地域経済は進み具合あと一歩です。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	・経済活動について言えば、震災前に戻りつつあると思う。 ・建設業を中心に繁忙が推移している。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	事業に対する建物（作業場）などが整備されてきているので進んだように見える。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	防波堤工事、水門工事が始まり、雇用が増加している。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	水産業については、7～8割回復した様に思う。水産業の後継者が少ない事の方が気になるようになってきた。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸北部	男	久慈市の災害復興住宅は完成している。野田村は一部完成し、現在着々と進行しているようです。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	ハード面での整備は着々と進んでいるが、ソフト面での整備はまだまだこれからであると感じる。区画整理地区の住宅等はまだまだこれからの部分もあることや、その後に構築される住民同士の横の連携・コミュニティ等課題はまだ多い。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	港の整備が進んでいる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	漁業（ウニ、アワビ等）の水揚状況の活況
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	山田町にコンビニが開業、山田の方々のお店も新しくオープンしました。その反面まだまだプレハブのお店もたくさんあります。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	・工事等で管内求人が多い。 ・鮭まつりの復活等で活性化を図っている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	鮭の獲れ高が今期は少ないと聞いています。2011年3月に教育活動として行った鮭の稚魚放流。あれから5年、その時放流した稚魚のことを考えると、津波の影響が大きすぎることを感じます。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	新しい店舗の建設が進んでいるから。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	今の問題ではなく、10年後先はどうなっているのかを考えると不安。先を見据えた経済・基盤づくりを考えているのか疑問を感じる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸北部	女	活性化を図ろうとあちこちでイベント企画が実行されている。内容はほぼ被災前に近づいた内容となってきた（特に海産物）。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	建設関係を中心に活気が出てきているように感じる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	浜の仕事の活気が戻ってきているような気がします。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	現在も資金面での援助をしていただいております。地域経済の活性化という点では、震災の有無に関わらずこの地域の課題であると思っています。基盤整備、制度面での回復という点では日々進んでいると思います。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	農林水産業については、ほぼ震災前と同程度には回復してきていると思われる。ただし、若年者の流出が続いており、今後の地元経済の先行きが心配です。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	漁業の生産量は震災前のくらいまでは戻っていないようだが、若い人たちが頑張っている様子が見える。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	地域に工事関係者の方々の宿泊施設が出来たのを目にし、この方たちが消費を進めてくださるのではないかと思います、また何度か近場の商店でもそういった方を何度か目にしたため。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	水産業関係の設備については回復していると思われませんが、サンマ・鮭などの水揚げが不振で、地元においても高値で食べられない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	Uターンで帰って親を看ようと思って帰って来ても、職種（求人）が少なく、職を変えても賃金がスタートからなので安い。生活が出来なくて帰って行く。私の町でも2～3人の事では無い様だ。物価は都会も田舎も同じ。都会のバーゲンが安い（チャンスが多い）。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	漁業水産加工業は回復していると思いますが、町の中心市街地である商業関連事業は足踏み状態です。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	釜石には被災した場所に大型ショッピングセンターができ、市内外からお客が増えてにぎわいが増していますが、その反面、他の商店が苦勞しているということもあり、どちらとも言えません。建設関係は割りといい話をききます。大工さんなどは、この先何年も仕事がたえないようです。建設資材もだいたいは良きそうですが、内陸の方から材料が入ってきているので、それほどではないということです。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	①交通手段はバスのみであるので、買い物等決まった店になる。1ヶ所で買い物すすみ、バス時間まで休むところがあるなどの事から、ショッピングセンターでの買い物となり、小さな商店での買い物は不便で出来ない。 ②必要最小限の物の購入のみの生活を続けているので、地域経済の様子を知るすべがありません。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	この半年間では代わり映えはしない。再建に対しての補助は出ていて、ありがたいことだが自己負担がある。利益・収益があれば、事業者はやっていけるのだろうが、震災以前から厳しい状況でやっていた方にとっては、それでも厳しいようだ。土木・建設関係は別として漁業・商業は依然として厳しいようだ。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	地域経済の進み具合を把握するのは難しいと感じる。なぜなら、一部の方々は順調であるが、一部は回復に程遠いという様相で、格差が顕著であるため。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	公営住宅等の建設もあと何年かで終わるものと思います。今はまだ復興景気に沸いていますが、いつまで続くのやらと心配です。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	土建関係、飲食関係は相変わらず好調に見えるが、工事が終わるまでだと思ふと楽観視はできない。商店街においては、何かイベントのある時は賑わいを見せるが、それ以外の時は閑散としたものです。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	最近三陸道が一部開通したので、早目に全面開通してもらいたい。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	女	震災直後の震災特需に比べたら、経済的には落ち着いて、震災前よりは経済状況は良いような感じがする。業種によって差がある。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	一時期と比較し鈍化したと感じます。お店の活気や出店などを見ていてトーンダウンが伺えます。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	経済の回復に向けて、働ける場所をつくる工事よりも先に住宅の工事を優先した方がいいと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	今は復興道路の建設や、役所の応援職員の皆さんなど、他地域から多くの方が街にいらっしゃる。そのせいで活気があるように見えている部分が多いので、この人たちがいなくなったらどんなに静かになってしまうのだろうかという危機感がある。また、宮古市は魚市場も拡充され、これも活気づいてみえるが、この大きな市場に合った加工業などの受け皿が充分ではないため、維持できるくらいの地域の力がそなわっているのか疑問だ。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	高齢化が一段と進み、若い働き手が不足している。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	漁業、農業はかなり回復が進んできたようだが、商業（小売店）は厳しい状況が続いている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	プロイラー産業で大きな求人が出るなど明るい話題もあるが、雇用数値などは県内最下位である。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸北部	男	・建設関係は復興工事で回復していると思うが、他の業種は変化がないように思えます。 ・鮭が不漁のため、加工業の方から大変との声を聞く。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	当地では、建設・水産・宿泊が復興需要に力強く支えられ設備復旧は進んだが、仮設営業が多くを占めている小売業や飲食業については、本設予定地でもある高上げ造成地の完成時期が明確となり、個々の事業者も本設再開に向け具体的に動き出したところである。しかしながら、将来への不安（集客、資金面、後継者、借地条件等）により様子見ムードも漂っており、災害公営住宅の入居率同様の事態が生じないかと懸念される。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	地域経済は一見回復してみえるが、それが復興需要によるものか、本質的なものかの判断がつきにくい。復興需要が治まってみないとよくわからない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	水産業は特に震災前より販路が開けない。これ以上期待できないような気がする。



区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	サケの不漁が大きかった。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	タラの大量や、ホタテやアワビの高値で良い面もあったが、魚は全体的に安く、タコ・イカは不漁の年でコンブは作っても売れなかったり、ワカメは塩蔵品だけが高く生出荷は安いなど、海で働く漁師だけ見ても、個人差が大きい年で、どちらとも言えません。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	・一次産業について言えば、一部分は表面的には造成完了して復旧された所は有るが、まだまだ自力の復旧等機能面には及ばないままの割合が高いままである。 ・市街地と一体的に進められる基盤整備は、これからやっとスタートラインに立つ部分もまだ多いので、順番が後になっているこれからの復旧基盤で再開する事業が心配である。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	仮設店舗での営業も多く、工事に伴う仮設店舗の移転も未だにあるが、本設の再建が極々少ないがあった。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	新しい店舗ができることもなく、これと言って経済の回復を感じる状況はないように思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	携わっている方々の努力には頭が下がるが、好転したかという疑問です。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸北部	男	多くの産業で人材不足だと感じる。原因は若者の建設業への流出。建設業の需要が減ってきた時に、どうなるのか（それまで産業が維持していられるか）心配である。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸南部	男	大型スーパーが出来て一見街が活気づいたようにも見える一方で、個人商店・老舗商店が閉店している現実を見ると、パイ自体が少なくなっていくなか経済の回復とは何だろうと考えてしまう。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	土木・建築関係は景気が良く、回復は感じられるが、他業種と合わせた全体となると、むしろ厳しい状況も見られるのではないと思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	進んでいると感じる面（水産業）もあるが、人口が減少している中、地域経済の回復は厳しいと思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	土木・建築関係に活気がある半面、その他の業種に人が集まらず、タクシー会社など減っている。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	地域に店舗が色々できてきているものの、衣類を買える店があまりなく、ネットを利用したり、市街まで買いに行っている状況だから。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	ショッピングセンターの大型店は稼働しているが、昔の商店街はまだ動いていない様子。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	前回調査で回答した通り、農林水産業に関しては、基盤整備、金融・制度面支援は被災前とほぼ同じ位まで回復したと感じますが、漁業での秋刀魚・鮭等の不漁、林業では伐採後の荒れた山林の再生等、不安案件を上げるタイミングがないですが、国・県・市町村関係各位による六次産業の取組に期待します。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	復興の工事が終わるところもチラホラ…。その後の工事関係者、また、関係者が宿泊している施設、使っていたお店等、終わった後の経済的影響が少しずつ心配されます。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	当地域の経済を見ると、震災以前との比較をせざるを得ないが、震災以前の企業数は147企業であった。その内の被災企業数は117企業（被災率80%）、再開企業は54企業（企業活動再開率46%）、その内本設再開企業は22企業、仮設店舗等での再開は32企業である。また休業中が8企業である。一方、事業を再開しなかったり、廃業が見込まれる企業は55企業あり、その割合は47%である。中でも、震災後地区外に工場を移転した企業や復興に欠かせない木材の製作所、買回り品の衣料品店、寝具店、最寄品の食料品製造業、生活に密着したクリーニング店や洋裁店、住まいの確保にとって重要なアパート、地域経営への波及効果の大きい民宿などが壊滅したのは、計り知れない損失である。再開企業の内、一部の企業はグループ補助金の採択を受け、新たな事業所の再建を目指しているが、目に見える形になるのは、本年半ば過ぎになるものと思われる。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	6ヶ月前と比べて変化が見受けられないと思います。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	・山田町について言えば、商業関係の本設が土地の嵩上げや下水道の整備の遅れから進んでいない。一方、水産加工関係は補助金の活用もあって、工場等建設はほぼ終了しているなど業種によって濃淡がある。 ・共通して言えることは、人口減による人手不足と販路開拓も含めた売上の回復が図られていないこと。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	水産業の市場が仮設から本設へ建設中ですが、水揚げできる場所が狭く、他の作業の場所も限られてとても不便です。鮭の不漁（予想されていたことですが）も続き、他の水産物の価格も低迷し、どんどん苦しくなっている。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	地元に戻って就職したくても、若者が一生働きたいと思う企業がない。しかし、水産加工業が少しずつ復活してきているし、近隣の市には大型商業施設もできてきたから。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	地域の商店は、仮設の店で営業しているが、今後店の移動を余儀なくされるので大変だと思うから。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	大型商業施設や仮設店舗から移転再建できた店舗は活気付いているように感じるが、未だ再建できない店舗が見受けられる。被災前と同程度に回復というのは難しいのではないかと。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	様々な支援を受けているが、震災前からの衰退傾向に歯止めがかかっているわけではないので（転出、少子高齢化の進行など）、経済の回復は難しいのではないかと。復興事業が終了したら、以前にも増して落ち込みが心配です。
回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	・市街地にあった商店業の本設が全然進んでおらず、市の嵩上げエリアに希望は出している商店経営者の多くの方々が一応希望は出しているが、実際嵩上げの状況を見ながら日々見ているが、市当局の説明会があって計画を受けて、今後の不安を一層難しさを感じているようである。特に、資金の問題が大きく感じているようである。 ・水産業は年度内に加工施設が完了見込みとなり、本格的に生産活動できるようになっている。
回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	町の道路も完成していないので、本設の商店も無く、以前の商店街が果たしていつ復活できるのか不明。
回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	復興関連工事が進んでおり、反比例して経済が悪化しつつある。
わからない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	支援を受けているのか自力なのかよくわからない。
無回答	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	女	農業、水産業も経済は回復に向かってます。水産業の工場が幾つも再建中で回復の方向に向かってる様に思われます。
無回答	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	被災した商店街にも家が建ち始めたがまだ店舗としての機能を果たすまでは至っていない。コミュニティハウスを造ってもらったので、そこから人々が集まり発展することを願っています。

### Ⅲ 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

災害に強い安全なまちづくりの達成度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	防災設備や施設がほぼ全て完成した。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤工事は復興計画に沿って日々進んでいるのを見てきている。工事の進捗に伴い12.5mの高さを見て、実際の海が見えないので、環境を含め不安を持っている。数十年先の堤防のコンクリートの耐用年数を考えると、将来に向いお荷物を残す感がある。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	今、盛んに山田町では防潮堤の工事が進んでいます。早く進んでいるとは思いませんが、丁寧にきちんと工事は進んでいると思って見ています。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	①市営漁港は完成したが県営漁港は工事中。 ②防潮堤工事も進んでいるが工期延長となっている。 ③二線堤である県道の嵩上げも工事が始まったばかり。 ④県道背後地の盛土工事も始まったばかり。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	仮設店舗前は5m嵩上げの上に今6階建ての復興住宅の建設中です。大きなクレーン、ベルトコンベア何十台のダンプが毎日忙しく動いておりません。私の知る所で、もう一ヶ所でも復興住宅の工事が見られます。反対側は海で防波堤は海が見えない位高く造られ、どんどん進んでいます。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	津波の防潮堤はまだできないが、高台の土盛りは終わったのではないかと思います。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	女	嵩上げが進み、これから新しい街がつけられると思う。防潮堤の整備も進んでいると思う。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	被災地域で防潮堤工事が進んでいる。復興道路建設も進んでいる。この点では安心なまちづくりが進んでいるように見えるが、5年ほど経った今、もう一度住民一人一人の防災意識を高めるような機会が必要なのではないかと感じる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	防潮堤、道路など早いスピードで工事が進んでいる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸北部	男	三陸道の整備が進んでいる。防災施設も完成した。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	目の前の防潮堤工事が始まり、浜の様子が変わりつつある。また、早期に行われた防災訓練に地域住民が参加するようになった。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	・防潮堤工事や、防集移転工事が進捗している。 ・公営災害復興住宅の建設が進んでおり順次完成が近づいている。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	・防潮堤の整備はだいぶ進んでいる。 ・“災害に強い”ということは、ハード面、ソフト面も含めて確認できることと思われるので、その点で言えばまだ不十分と言える。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	防潮堤の整備は進んでいると思うが達成（完成）まではまだまだ！
やや達成した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸北部	男	野田村は防潮堤はかなり進んでいる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	高齢化等により事業断念した先が多い。もとより人口減少等による売上の減少に加え、被災による人口流出もあり、これをきっかけにより廃業した先も多い。現在各種支援を享受し事業再建した先についても、地域全体の人口減少は大きな問題となっており、従業員の確保を含め震災前までの回復という点では厳しいものがある。特に一次産業については、官民一体となった6次産業化など色々な工夫が必要と考えられる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	防潮堤、復興道路の工事が進んでいる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	防潮堤工事、嵩上げ工事の進捗状況を見て。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	形として見えるので進んでいると感じる。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	急ピッチで工事が進んでいると思います。今後ともよろしく願います。
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	土盛りした上に道路ができたこと。トンネル、高速道路、橋の建設が進んでいること等、災害時の移動がスムーズにできるように工事が進んでいるから。
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	堤防工事が目に見えて進んでいる。工事車両がととも増えてきたように感じる。安全なまちづくり（堤防・道路・宅地など）が進んできている。運転しながら、堤防が高くなり、海が見えなくなったことを感じるが『災害に強い安全なまちづくり』を第一と考えれば、工事の完成（終了）を望んでいる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	金浜地区の防潮堤の建設が進んでいるため。
やや達成した	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸北部	女	堤防や土地の嵩上げ等進んでいるが、これが最大の安全措置なのか疑問に思う箇所もある。
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	防潮堤等の整備が順調に進んでいる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	防潮堤の嵩上げ工事や道路工事は順調に進んでいる。一方、高齢化が進んでおり、住民の災害に対する意識変化は時間とともに顕著に現れてきている。行政として住民の安全確保のため色々な対策を講じているが、時間とともに防災・減災に対する意識が減少してきた感じがする。
やや達成した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	地元又は通勤途中の市町村で防潮堤工事や三陸道の工事が着々と進んでいるのを目にするため。
やや達成した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	震災で流された場所の整備、道路や高い堤防の工事は進んでいる様に感じるのだ。
やや達成した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	以前より丈夫な防波堤が完成間近です。それで「いい」とは思いませんが、安心感が全く違います。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤の工事は進んでいると思いますが、完成まではまだ時間がかかるのでは、二線堤の工事も当初の完成予定より、一年以上遅れそうです。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	達成度はないがやや進んでいる様に見える。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	被災地の防潮堤などの工事で、土砂運搬の車両の行き交いや、土砂運搬の巨大なベルトコンベアは、建設復興の象徴である。防潮堤の建設が目に見える形で進んできた。巨大な防潮堤の出現は刑務所の壁みたいで不気味なものを感じる。千年に1度の大地震に疑問を感じる。柳澤地区の都市計画地域は、住宅建設が進み、大型店舗進出が図られている。防潮堤の着工が見えてきた。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	安心・安全に生活が出来る様に、防潮堤・避難道路の整備が、早期に形が見えるものにしていただきたいと思います。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	まもなく5年になる。計画半ばでありようやく始まったとの思いが強い。理想の避難道を取りあげても「予算の裏付けが無い」住民の真剣に考える力を削ぎ取る大きな一言である。復興を考える人が少なくなっている。予算はどうすれば出来るか。あるいは努力していただいているのだろうか。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	町から離れた山里の仮設に住んでいるため、本当に必要な時（お墓参り、買い物、通院）だけ、バスに乗り、町に出掛ける。自宅から目的地の往復だけで車窓から見える復興工事の様子を知るだけ。町発行の広報などで知る事もあるが、途中経過などの様子も知りたい(特に防潮堤)。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	工事業者の入札のやり直しなどもあり工期の遅れは必至。普段よく目にする場所は進んでいると感じますが、あまり行かない所の状況は正直判りません。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	海岸に高い防潮堤が立ち始め、事業は進んでいるのでしょうか。安全なまちづくりとは、防潮堤や道路だけでしょうかと疑問に思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	防潮堤、避難路、海岸沿いの都市公園ともまだ工事半ばで、完成するまでは不安である。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
どちらとも 言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	防潮堤が目に見えて復旧しているとは言い難い。
どちらとも 言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	盛土がところどころに見えてきた。防潮堤の工事も進んできているようだ。
どちらとも 言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	防波堤工事が進んでいる地域と進まない地域をまわって見る機会が多くあるが、防波堤が高くなり海が見えなくなった道路を通ると、危機感が薄れる様な気がする。災害に強いまちづくりは、ハード面の整備よりソフト面の継続と長期的な取組が必要と感じる。既に地震＝津波を意識していない子供・若者が増加している様にみえる。地震発生時に海釣りをしていても避難しない人がいる。
どちらとも 言えない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	震災後の個々の防災意識は高いが、それは個々、もしくは家族に対するもので、地域社会でまとまった防災活動へは反映されない。例えば地域の防災訓練への参加者は震災前同様少ない人数で行われていることが挙げられる。
どちらとも 言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	女	防潮堤の工事現場など見に行った事がないので分からない。すべて工事関係の皆様が責任を持ってやっていると思うのでそれでいいと思う。
どちらとも 言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	パッと見て、色々と進んで見えるが、よく見ると水門も無い、湾防もいつ出来るか先が見えない。
どちらとも 言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	防潮堤の工事中
どちらとも 言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	道路や防潮堤の工事は進んでいるように見える。でもまだ安心レベルではない。
どちらとも 言えない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	高上げ工事等は進んでいるが、そこを何に利用するためのものなのかイマイチよくわからない。高台へ移転した人たちはもうそこへは帰ってはこないのだし、地域の人口も減るだけではないか。防潮堤も何を守るのかわからない。
どちらとも 言えない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	道路や堤防の工事があちこちで行われている様子は目にするが、達成したとは言えない状況。
どちらとも 言えない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸北部	男	見える部分（ハード面）では大きく変化した印象はない。もう少しで震災から5年が経過し、避難訓練等も震災以前から行っているものくらいになった。これが防災意識の低下なのだろうか。
どちらとも 言えない	教育・福祉施設関連	60歳以上	沿岸南部	男	防災教育により、子どもの意識が大人に波及していると感じる。やはり教育の力は大きいと思う。
どちらとも 言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	・山田、吉里吉里、両石等道路の変更が見られる所もあるが、磯鷲-津軽石間の海沿いは、堤防の工事がまだまだのように思える。 ・宮古道路の工事も進んでいるが（工事関係の車の関係で）渋滞が多い。 ・山田線の事故のその後が気になる。→宮古釜石間を含め、早く復旧できればと思っている。
どちらとも 言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	様々な考えもあると思うが、被災した場所に住居が建っていくのを見ると、「安全なまちづくりにより、住民の安全の確保を目指し…」という面をどのように考えているのか悩むところだ。
どちらとも 言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	復興工事の進み具合（スピード）は地域によって異なっている。唐丹・本郷地区は目に見えて早いと感じている。ただ土木工事そのものが進んでいても「安全なまちづくり」が進んでいるとは思わない。
どちらとも 言えない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	防潮堤や宅地の高上げ工事が進んでいるのがわかるから。ただ地域によって差があると思う。あまり進んでいない地域もある。
どちらとも 言えない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	防潮堤も所々、完成し始めている部分が見られるようになってきた。又、道路も盛土し高い位置で復興している所もみられる。
どちらとも 言えない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	道路の高上げや整備は進んでいるが、津波の被害を受けた区域での住宅再建や店舗の再建も見られていて、同じ規模の津波が起こった場合、再び同じ被害が起こることが心配である。
どちらとも 言えない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	ある町の防潮堤を見ました。正直景観も何も無い。ただの刑務所のような雰囲気。町全体が冷たく感じました。仮にこの防潮堤を超える津波が千年に一度きたとしたら、この町は完全にプール状態になると思いました。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	防潮堤や沿岸からの道路の建設がどんどん進んでいます。完成すれば、「達成した」といえると思います。以前のものより、しっかりした防潮堤が建設されているようで（以前は、毎年のように高波で土台が崩れ修繕していた）完成が楽しみです。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	防波堤も道路工事も以前より工事休止などあり、目に見えて進んでいる様に見えないのは、予算の関係からでしょうか？以前は工事関係者が宿泊していたホテルや民宿などに空き部屋が見受けられるようになりました。防波堤に関しては完成時期が遅れる事はあってはならない事です。予算を分散する事なく、防波堤に予算を集約して「命の砦」のいち早い完成を願います。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	目に見える形でのまちづくりは着実に進んでいると思います。周囲の工事の進捗状況を見ても、関係者の方々の努力を感じます。これからは私たちの記憶を風化させないような心構えが必要だと思います。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	H27年8月調査の回答と同じである。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	町の中心拠点となる中心市街地への盛土区間は進んでいますが、盛土面から海を臨むと海が丸見え、防潮堤の基礎が長蛇の列です。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	災害後3年くらいは目に見える範囲では素晴らしいと思っただが、最近では進んでる様には見受けられない気がします。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	堤防や防潮堤はまだ完成されていないので、安全なまちづくりはまだまだだと思います。私のいた鶴住居町はようやく盛り土が始まり、仮の道路をつくり始めているところなので、まちづくりはまだもう少し2~3年かかりそうです。災害復興住宅が建つ場所も土地が整備され始まったところです。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	防潮堤は広範囲にわたるので、なかなか進んでないように見える。浸水地域も嵩上げはしているが、そこがどう風になっていくのかイメージが全く湧いてこない気がする。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	建設業はトラックも多くいつも渋滞しているが、防潮堤の完成はまだまだのようです。みんな一生懸命だと思いますが、今津波がきたらまた町がなくなると感じる時がある。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	防潮堤は完成していないが、新しい道路が出来るたびに復興を感じている。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	防潮堤の工事もだいぶ進んではきているが、完成にはまだまだなので一部不安が残る。区画整理事業も8割方終了し自立再建の方々の家も建ち始めてきた。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸北部	男	工事延長等、まだまだという感じです。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	達成度は、各種予定されているまちづくりが完成して、はじめて達成したと言える。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	高台移転、住宅再建が早くなり、防潮堤の整備は全く進んでいない。10m以上の防潮堤に一個も水門がなく、避難する時は10mの階段を上る予定。年寄りは大変。どう考えているのかわからない。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	昨年後半より、水門の建設準備が始まった。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	現在、居住地とは違う町で仕事をしている。そのため2つの町を比べてみると、災害に強い安全なまちづくりのために、じっくりと取り組んでいる所と、震災によって被害を受けた所にそのままの状態でもう街ができている所があり、矛盾を感じさせられる。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	防波堤を造るため、まだ途中の段階だと感じるから。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	工事はしているように見えますが、目に見えてここが変わったと言えることが見当たりません。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	地権者との問題があったとは思いますが、大災害時の時の方法は国の方も考えるといい、予算も大きくなるし、仕事も「のんびり」と時間がかかる。住民が見聞きしてあきれかえる。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	災害に強い安全なまちにはほど遠いです。でも、これからだと思います。頑張してほしいと思います。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	(1) 港湾防波堤、防潮堤とも未完成 (2) 工事関係者の動きがやや活発
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	町が形成されていない。
達成していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	防潮堤は完成してこそ効果がある。この6ヶ月で、目に見えて進んできた地区もあると思うが、完成まではまだまだである。手付かずの地区もある。遅れるのも困るが、長期的な効果が望まれるので、手抜きのない様に確実な整備をお願いしたい。
達成していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	机上論ばかり先行して過去の実現を直視しない危険なまちづくりが進んでいる。大船渡市の場合、市街地で海に近い高台があるのに、迂回しなければ高台に行けない道路計画を進めている。人工の構造物がいかにか弱いものかを今回の災害で学習したはずであるが、もっと自然の地形を利用して安全なまちづくりを進めてほしい。
達成していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	防潮堤の復旧が遅れているほか、人々の防災に対する意識の低下は進んでいるところか、後退している印象です。
達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	道路工事が進み進捗は良いと思うが、仮道路に問題があると思う。「仮」と言われればそれまでだが、カーブが急になったり右折レーン（元からなかったが、復興に伴い車両が増加し、慢性的な渋滞になっているため、考慮した造りになると思った）がなかったりと、復興には関係ないかもしれないが普段の生活に影響があると思う。
達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	防潮堤はまだ完成していないのと、現状が日々変わっているのに避難訓練がされていないので、よそから来た人達に対してどうするのかわからない。80%は完成に近いので、残りの20%はまだ工事されていないので津波が来たら集中しないか心配している。
達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	(前回よりあまり変化なし) ・湾全体的に見れば、防潮堤等はつながっていないので、津波への対応という意味でまだまだであると思う。 ・逆に言えば、つながらないうちは市街地がいくらか嵩上げされても、「住宅地」としては、心配が残るであろう。
達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	防潮堤の工事は遅れてはいるのですが、日々の変化は感じられます。しかし夜間の道路は街灯が少なく、歩行も運転もこわい。
達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	防潮堤の工事はあまり進んでいないように思う。復興道路の工事はあちらこちらで進んでいるように思う。土地改良工事も目に見えて進んでいると思う。
無回答	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	女	浜の工事が船利用するところが大変立派に完成され利用しております。今後取り組んでほしいです。

**【自由記載集：掲載にあたって】**

- ①回答者ご本人のご了解をいただいたもののみを掲載しています。
- ②自由記載(理由)は、表現も含め、原則として原文のまま掲載しています。  
(一部、誤字・脱字等の修正や企業・団体・個人名の置換えなど、表現をあらためています。)

平成28年第1回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

発行

平成28年3月3日  
岩手県 復興局 復興推進課

〒020-8570  
岩手県盛岡市内丸10-1  
電話 019-629-6945